

精糖の思い出



三幸食品相談役 鈴木 四郎

あれは昭和三十年代後半、私が砂糖部長をしていたころの話です。ある仕手(パチンコ店主)が精糖を大量に買い占めたことがあり、当時、当社は砂糖を取り扱ってはいましたが、「雑穀屋に砂糖が売れるか」と、ほとんどの精糖メーカーは相手にしてくれず、特約店になれず、精糖の入手に苦労していました。

そこで、仕手が現受けた精糖を安く購入すること考えました。杉山幸三郎社長に相談すると「現金はいくらでも出してやる」と

いわれ、札束を持って仕手筋の家に行くと、精糖を購入、それを販売しました。その後一回、三回と仕手筋が現受けた玉を買っていき、向こうが「もう、後払いでよい」「小切手でもよい」というようになり、この取引は三年は続き、おかげで、精糖の販路が拡充、当社砂糖部は大きく発展しました。

信用プラス信頼



ハーベストフューチャーズ社長 佐藤 陽紀

商品先物業界にもいろいろなゴルフコンペがあり、みんな楽しくやっています。なぜ、コンペが楽しいかというと、お互いにルールとマナーを守って競い合うからです。

基本的なルールをきちんと守るのが「信用」で、守らないと罰を受けます。この信用をもう少しレベルアップしたのが「信頼」です。ゴルフで言えば、大声でしゃべらないとか、ラインを踏まない、バンカーの跡は直す——といったマナー的な要素です。罰を受けるわけではなく、信用にこの信頼がプラスされるこ

鎧橋随想

路線バスで紅葉見物



日商岩井フューチャーズ社長 橋本 昌明

とがフェアな、楽しいゴルフのためには欠かせません。この信用プラス信頼を向上させることは、商品先物業界にとっても最大のテーマです。これをクリアできない場合は業界の発展もありえません。信頼性に関する問題ありとみても、批判するものがタブーのようになっていて、業界として改善に本格的に取り組むことがありませんでした。

しかし、昨年末以降、先物協会の信頼性向上小委員会、それを発展的に改組した「信頼性向上に係る特別委員会」を通じて真剣に考えるようになっていきました。

先月末も、妻が沖縄の娘を訪ねて留守にしたのを幸いに、一人、利根川上流の紅葉を愛でてきました。

路線バスは本数が少なく、どう組み合わせるかが難しい。その計画を立てるのもまた楽しいものです。

「先物感覚」取り戻せ



光陽グループ代表 川路 耕一

日本は江戸時代の米相場以来、三百年の歴史を持つ先物先進国でありながら、現代人には「先物文化」が欠けていると思う。「売り」の文化、「先物感覚」を取り戻すことが国際競争に勝ち抜くために急務です。

バブルの絶頂期にわたしは社員に向かって「株はすぐに処分した方がいい」と呼び掛けました。

それは、三菱地所がニューヨークのロックフェラーセンターを買収するというニュースを聞いた時で、バブル経済は破裂近しと判断したのです。

石橋をたたくまでも渡らなかつた三菱地所が動いたのですから、これは転機です。

相場というものは、上

珍品拝見

手作りの浮きで釣りを楽しむ

タイコム証券社長 西田 昭博



西田昭博社長手作りの浮き

ケースのふたをあけると小さな丸い頭がズラリと並び、大きさは浮力を定める。そして、桐材の下部に円錐形の鉛の重りを打ち込み、小型旋盤で削る。同心円状に整えないと帯状の線模様の手作り、市販品とは色つやが違う。

手ひらに乗る小さなものだが、仕上げるのに一カ月近くかかる。まず、釣る

場所や潮の流れを頭に描き、大きな浮力を定める。そして、桐材の下部に円錐形の鉛の重りを打ち込み、小型旋盤で削る。同心円状に整えないと帯状の線模様の手作り、市販品とは色つやが違う。

次は、防水加工の下塗り。そして、白色のうるしを三、四回塗り。塗っては乾くのを待つ。さらに、色付けを済ませ、エポキシ樹脂を三回程度塗り。これも乾かしは塗りという作業の繰り返し。

「気に入った浮きがなかなかできない」と言う西田さんは「だから、飽きもせず作り続けることになった」と。

西田さんはいそがしに魅せられて十数年。浮き作り

初出場で初優勝

グローバリー、淡路島女子駅伝で



グローバリーは去る十一月三日行われた第十二回淡路島女子駅伝に参加、創部三年目で「初出場、初優勝」の快挙を成し遂げた。

この駅伝は十二月に岐阜で開催される全日本実業団女子駅伝の代表を決める大会で、関西・中部・中国・北陸の四地域の実業団十七チームが参加して、六区間三十七キロの距離で行われた。

グローバリーは一時五分五十六秒の十五秒の大会新記録を樹立し、快走する野口選手(毎日新聞社提供)

録で優勝。六人中四人が区間賞を、うち一人が区間新記録を樹立した。出場者のうち藤原夕規選手は全日本実業団陸上八百メートル、田村育子選手は同千五百メートル優勝者、野口みづき選手はハーフマラソンの女王といわれており、十月イギリスでの世界ハーフマラソン選手権でも四位に入賞している実力派。同チームは初出場ながら注目を集めていた。

同社の加治屋尚会長は「雨の中、快走してくれた選手たちの姿は、私をはじ

事務局だより

木枯らしが吹き始め、「師走」という言葉を耳にする季節になりました。これからの時期、最近ではエアコンによる暖房設備から空気が乾燥し、のどを痛めやすい環境になります。また、忘年会などの行事もあり、とくに体に負担がかかります。十分な睡眠、うがい、手洗い等実践し体調管理に心がけたいものです。

二〇〇一年も残りあと少し。取引員および関係団体の皆様、体調に留意し、一年を締めくくりましょう。



江崎 格氏

後年、関さんが日本証券業協会副会長に転身された時、おわびの席を設けました。東穀取の中川正義専務理事が関さんと先輩・後輩の関係だったもので、中川さんに仲を取りもってもらい、昼食を共にさせていただきました。

通産省は昭和五十六年五月二十日、商品取引所審議会(岡田覚夫会長)に金上場を諮問、七月十六日には「政令指定すべし」と答申、そして九月十一日に閣議決定、同日政令公布、同二十四日施行と、トントン拍子でことが運んでいく。

多々良 通産省の江崎格商事室長(現商工中金理事)の市場作りにおける獅子奮迅の活躍は大変なものでした。国会の先生方に金市場の必要性を説いて回るわけですが、海部俊樹文部大臣(後に首相)の前で、「先生、この文章を声を出して読んで下さい」とやった時の光景は忘れられません。

私は江崎さんの指示で商社や鉱山会社の幹部を訪ねて、協力をお願いして回った。当時は、業者が一人でも反対すると、上場できなかった時代ですからね。

東京金取引所の初代理事長にだれが座るかめぐっては種々憶測が流れましたが、渡辺英氏(元中小企業金融公庫総裁)という大物が就任したのはマスコミも驚いた。

多々良 この理事長人事も江崎さんです。江崎さんは渡辺氏のご子息と同級生だったため、学生時代から渡辺英氏をよく御存知でした。

理事長人事にもまして、金取引所に参加できる取引員の選抜が難儀でした。

多々良 当初、商品取引員枠は二十社限定という話で、これでは大変と、三十社に拡大してもらったのですが、当時、二百五十社あった取引員から三十社を選ば作業は大変でした。三井金業鉱山の宇塚さんが資格審査委員長で「バランスではダメ」「妥協はダメ」と厳しかった。最終的には通産省が判断して決めた。

証言・戦後先物史

東京金取引所の誕生(下)

語る人・豊商社会長 多々良義成

江崎室長が獅子奮迅の働き

大蔵省で切れる者として知られる関要国際金融課長の外遊中に、金市場を通産省所管のもとで作るべく答申をまとめるというウルトラCには関さんも憤慨されたに違いない。

多々良 それは当然でしょう。五カ条の御誓文と呼ばれた金市場問題懇談会の答申の第四条に「金融、証券業者の参加について方途を講ずる」とありますが、関さんとすれば「冗談じゃない」という気持ちだったでしょう。

後年、関さんが日本証券業協会副会長に転身された時、おわびの席を設けました。東穀取の中川正義専務理事が関さんと先輩・後輩の関係だったもので、中川さんに仲を取りもってもらい、昼食を共にさせていただきました。

通産省は昭和五十六年五月二十日、商品取引所審議会(岡田覚夫会長)に金上場を諮問、七月十六日には「政令指定すべし」と答申、そして九月十一日に閣議決定、同日政令公布、同二十四日施行と、トントン拍子でことが運んでいく。

多々良 通産省の江崎格商事室長(現商工中金理事)の市場作りにおける獅子奮迅の活躍は大変なものでした。国会の先生方に金市場の必要性を説いて回るわけですが、海部俊樹文部大臣(後に首相)の前で、「先生、この文章を声を出して読んで下さい」とやった時の光景は忘れられません。

私は江崎さんの指示で商社や鉱山会社の幹部を訪ねて、協力をお願いして回った。当時は、業者が一人でも反対すると、上場できなかった時代ですからね。

東京金取引所の初代理事長にだれが座るかめぐっては種々憶測が流れましたが、渡辺英氏(元中小企業金融公庫総裁)という大物が就任したのはマスコミも驚いた。

多々良 この理事長人事も江崎さんです。江崎さんは渡辺氏のご子息と同級生だったため、学生時代から渡辺英氏をよく御存知でした。

理事長人事にもまして、金取引所に参加できる取引員の選抜が難儀でした。

多々良 当初、商品取引員枠は二十社限定という話で、これでは大変と、三十社に拡大してもらったのですが、当時、二百五十社あった取引員から三十社を選ば作業は大変でした。三井金業鉱山の宇塚さんが資格審査委員長で「バランスではダメ」「妥協はダメ」と厳しかった。最終的には通産省が判断して決めた。